

神津島の火山活動解説資料（平成 30 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ~ ）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

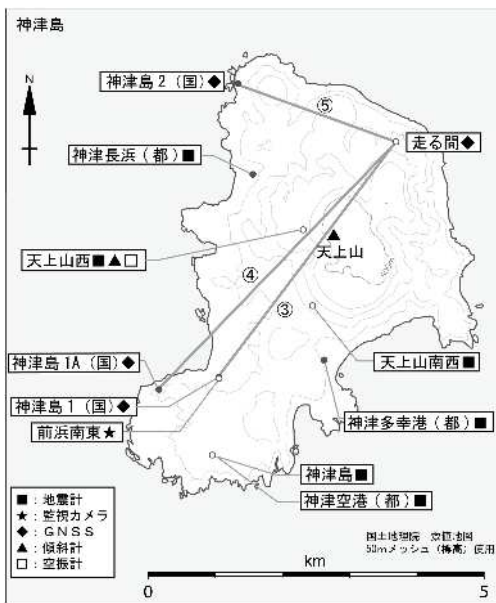


図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 3 の ~ に対応しています。
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。

図 2 神津島 天上山山頂部の状況

（1 月 21 日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 30 年 2 月分）は平成 30 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

【計数基準の変遷】

A型地震: 2010年10月1日(観測開始) ~ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
 BH型地震: 2010年8月2日~2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
 2013年10月1日~ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

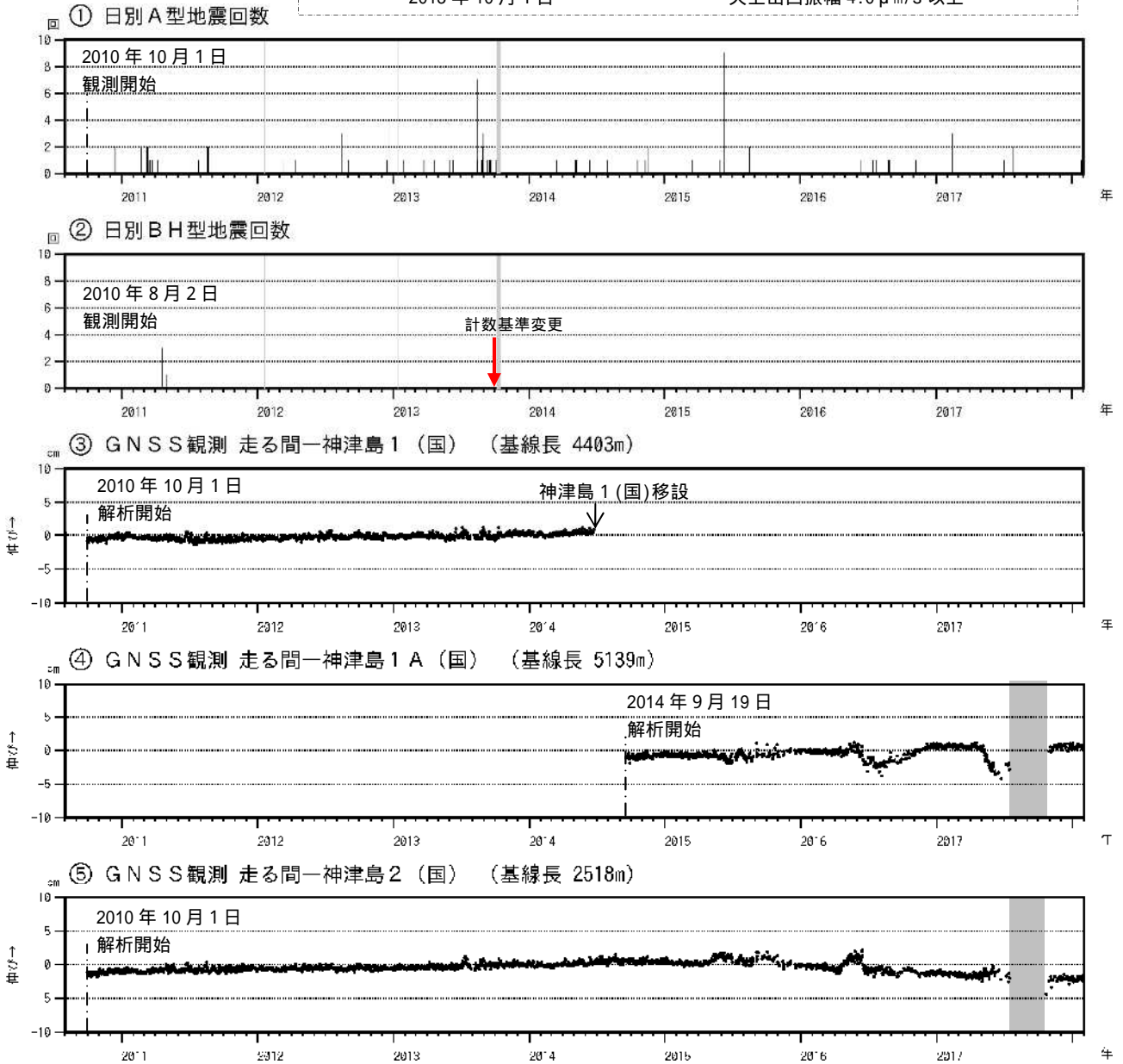


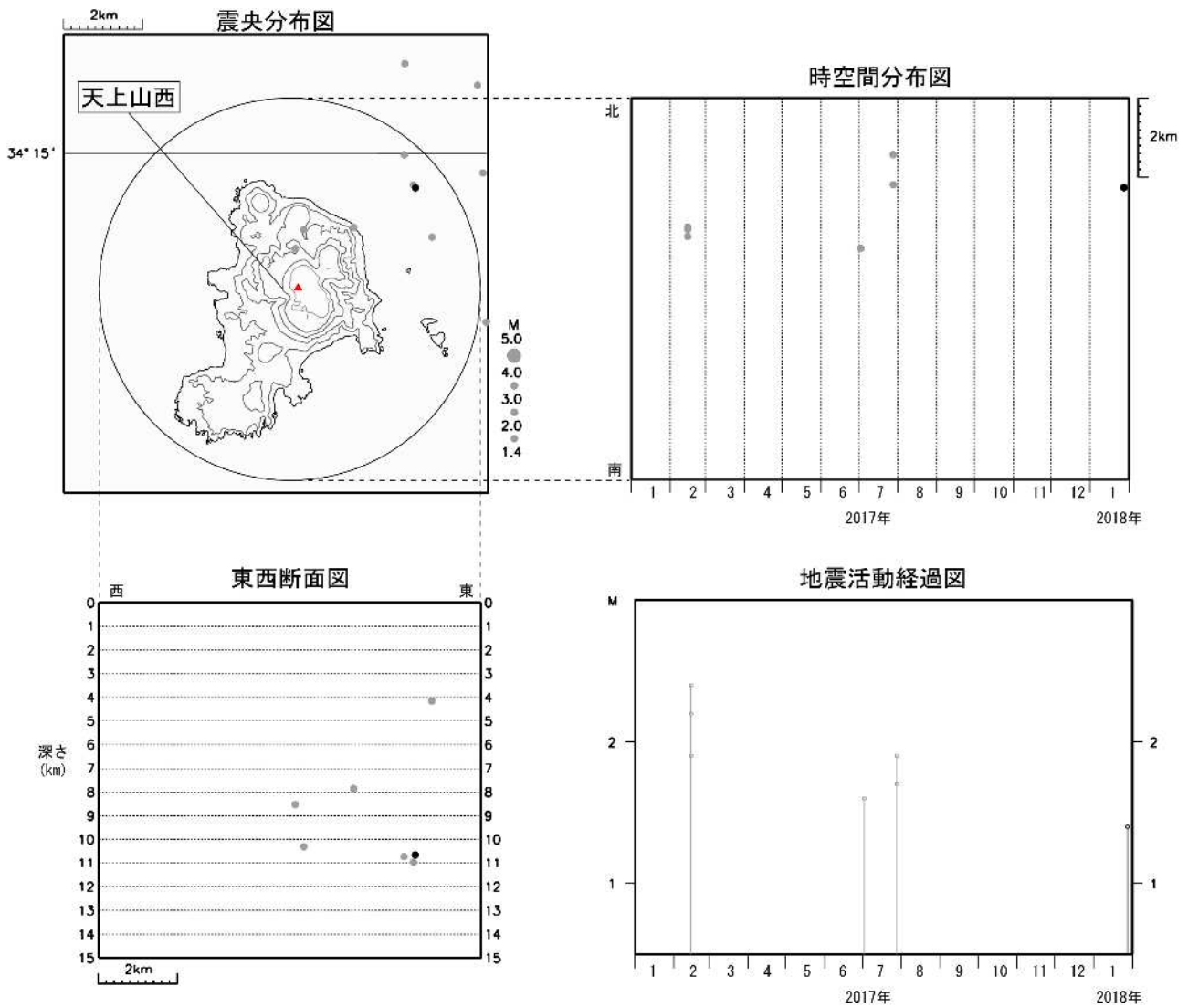
図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日~2018年1月31日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

~:(国): 国土地理院、~は図1のGNSS基線~に対応しています。

2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

2016年1月以降のデータについては、解析方法を変更しています。



: 2017年1月1日～2017年12月31日 : 2018年1月1日～1月31日

図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2017年1月1日～2018年1月31日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
 M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
 震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象(天上山西から半径5km、深さ15km以内)の範囲を示しています。

・今期間、神津島の山体及びその周辺に震源が求まる地震は少なく、地震活動は静穏に経過しています。